



むらぐち 鉄哉 議員
村口

議会のやりとりは
ガチです

問

町行政改革大綱と公約の達成度は

町長

新規事業及び拡大事業を実施

問 新町政となり、行政改革と公約を含めた達成度や進捗状況は。

町長 「くんねっぶを守る6つの政策」を基本的方針として、子ども医療費助成を高校生まで拡大、農業者支援、物価高騰対策などを進めている。

問 農業者支援で、後継者支援はもちろんであるが、人口の増加対策として新規就農者への積極的な推進の考えは。

町長 農地の取得や農畜産物の販売もあるので、農協などとも連携し対応していきたい。

さらに、新規就農者等支援条例についても

平成27年に制定されたので、見直しを検討していく。

問 農業・商工業の就労者に対する支援制度の周知の考えは。

町長 町のホームページも古く、今後は、周知方法も時代に沿った方法で見直しを考えていく。

問 事務処理ミスを少なくするため、事務事業のスクラップ（効果の低いものを廃止）を積極的に進めていく考えは。

町長 何年も前から行っている事務をやめるには、町民を含めた議論が必要と考えている。

問 組織改編を考える中で、税の関係部署は特に重要であり、人員削減をすることなく適正な配置をする考えは。

町長 税務部署は、信用信頼を低下させてはならないため、重々勘案し改革の方向に結びつけていく。



行政改革大綱とよくわかるまちの仕事

問

町のDX推進は

町長

DX推進は 町民の利便性向上

問 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）は、いつごろから実施するのか。

町長 DXとは、ICT（情報通信技術を活用したコミュニケーション）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」と言われている。

本町の取組事項は、「行政手続きのオンライン化」「情報システム（情報通信技術）の全国標準化・共通化」であり令和7年度末から実施する。

その他「自治体A I: RPA（簡易作業の自動化）の利用促進」「テレワーク推進」による事務作業の効率化が期待できる。

その他重点取組事項

以外では、母子手帳アプリ、保育園システム、自治体ラインシステムをすでに導入している。

問 高齢者にも利用できるパソコンを庁舎内に設置する考えは。

町長 すでにNPO法人と公民館でのスマホ教室など高齢者に向けて開催しているが、今後情報格差をなくすよう対策を行っていく。



村口議員の一般質問を視聴できます